

インフラメンテナンス国民会議 インフラメンテナンス市区町村長会議 設立宣言

我が国では高度経済成長期に道路、河川、港湾、上下水道等のインフラ構造物が集中して整備されたが、近年、その老朽化が加速度的に進んでおり、老朽化に起因する事故等の発生が社会問題化している。

インフラ構造物は、私たちが日常生活や経済活動を営む上で、無くてはならない存在であるが、これらの老朽化に起因する事故等は直接的に人命にも関わる重大な問題である。また、災害をもたらす自然現象が発生した場合においても、インフラ機能が発揮できるように、防災・減災の観点からもメンテナンスを考える必要がある。

以上を踏まえると、地域住民の安全・安心に直接責任を有する基礎自治体である市区町村にとって、インフラメンテナンスの適切な実施は非常に重要な政策課題であり、SDGs（持続可能な開発目標）の達成にも資するものである。

しかしながら、特に市区町村においては、インフラメンテナンスの推進にあたり、「予算の制約」、「技術職員の不足」、「知識・技術などのノウハウの取得」などに大きな問題を抱えている。

このような状況に鑑み、インフラメンテナンスに高い関心を持つ市区町村長が自ら構成員となる「インフラメンテナンス市区町村長会議」を設立し、以下の取組に全力を尽くすことをここに誓う。

- 一 インフラメンテナンス市区町村長会議は、インフラメンテナンス国民会議と連携しながら、今後のインフラメンテナンスについて議論を深め、構成員の知見や意識を高めます。
- 一 インフラメンテナンス市区町村長会議の構成員は、持続可能なインフラメンテナンスの実現を通じて、地域の将来像を見据えたインフラのマネジメントをトップダウンにより推進します。
- 一 インフラメンテナンス市区町村長会議は、豊かな国民生活と経済活動を支えるサービスの基盤であるインフラとそのメンテナンスの重要性を国民・市民に訴えていきます。

令和4年4月28日

インフラメンテナンス市区町村長会議